

ICT事業概要説明 & ご提案書

株式会社 浜田

アジェンダ

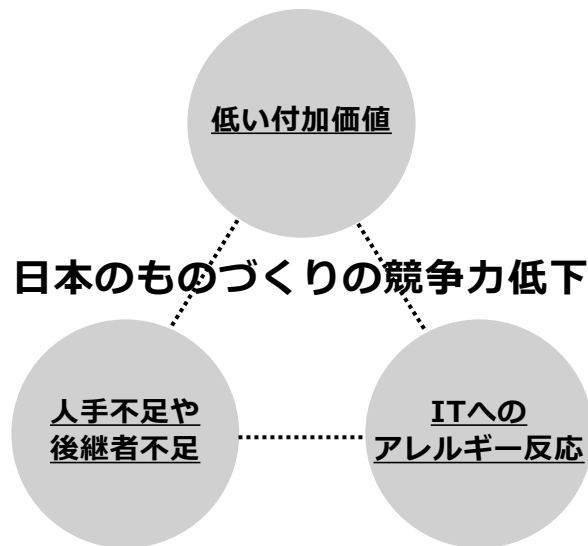
1.製造業界の現状&目指す世界観

2.ご提案イメージ&ICT・DXについて

3.製造現場の課題&解決策・メリット(商材紹介)

4.まとめ

1. 製造業界の現状 & 目指す世界観



現時点で必要なこと

既存の設備/人員/業務フローを元に一部分をDX化することによる業務の効率化

中長期的に必要なこと

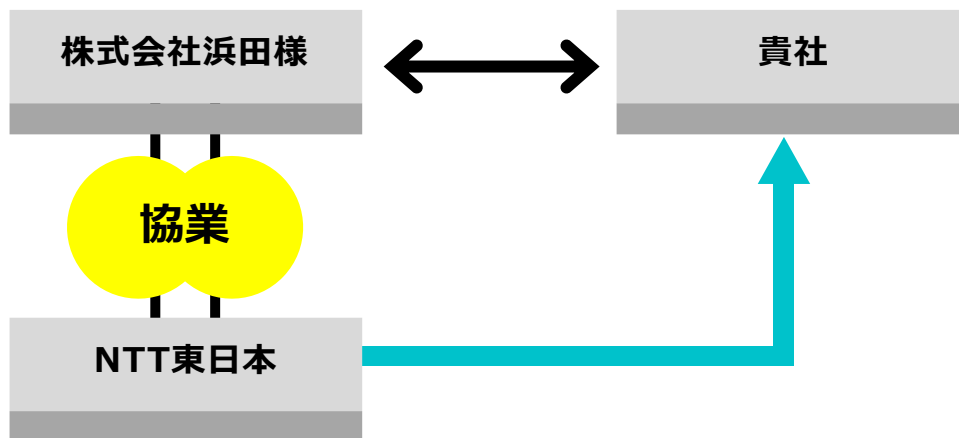
製造業の付加価値、魅力を高めるための抜本的改革



製造業界のDXに向けて、まずは既存の業務の部分的なDX化から取り組んでいく

2.ご提案イメージ

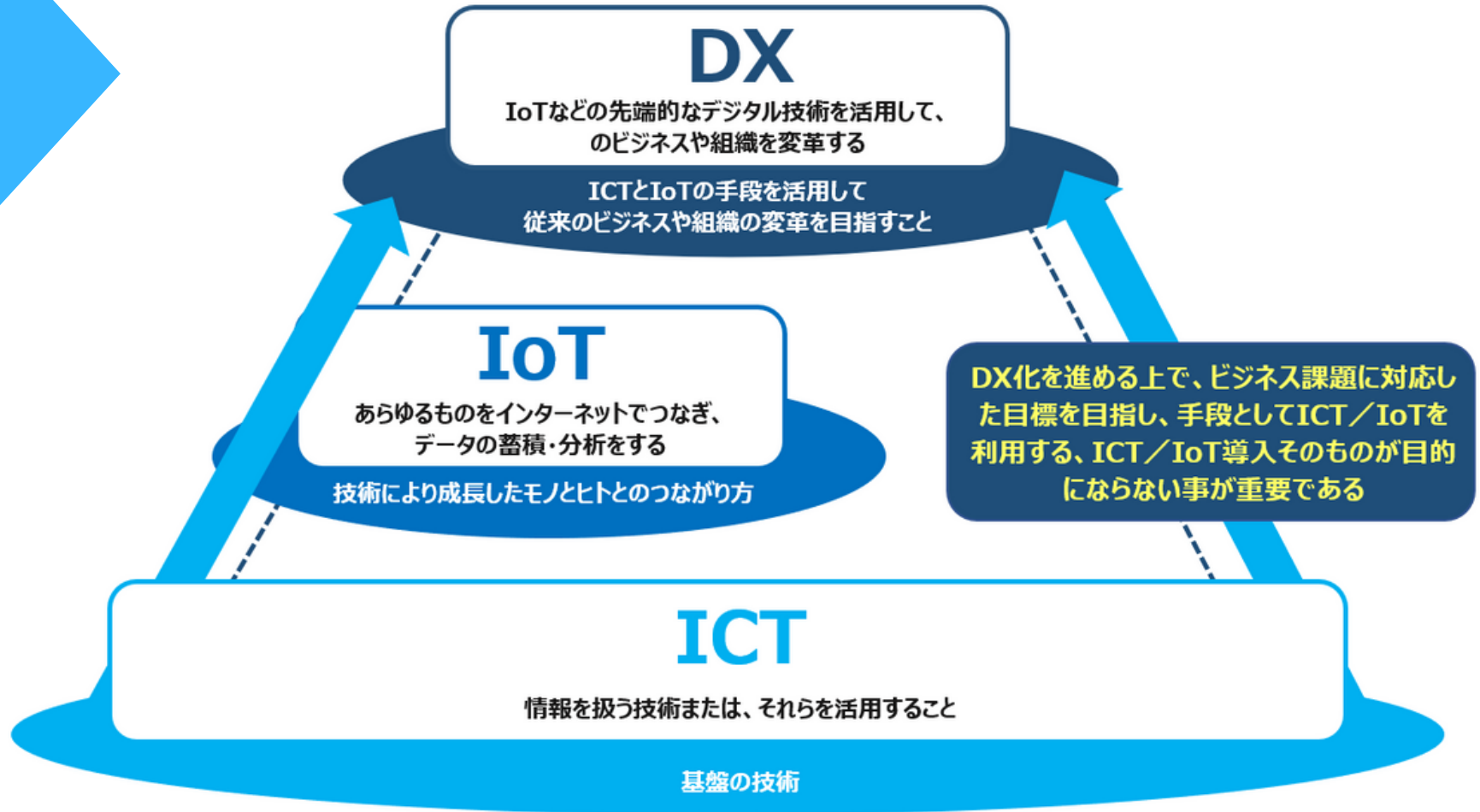
IoT機器/ICTなどの新領域進出をお支え



NTT東日本がICTコンサルタントとして
貴社のICT/DXをお支えいたします。



2. ICT/DXについて



Point

最も基盤となる技術がICTであり、IoTはそれを土台とした通信技術による「モノとヒト」のつながり方を表す概念です。そしてDXとは、ICTやIoTといった手段をさらに活用し、デジタル化の進展による従来のビジネスや組織のあり方を変革することを意味します。

3.製造現場の課題&解決策・メリット(商材紹介)

環境変化の概況

これまで

これから

事業
環境
の
変化

継続した需要が見込め、安定した業界構造

- 製造業は人気産業であり、積極的な設備投資や、優秀な人員を採用



成長に陰りが見え、加えて人手不足も進み、自社人員のみで全てを賄うことは困難に

- 固定費の低減も目下課題



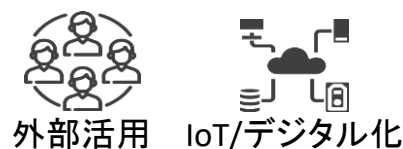
運営に関する機能は、全て自前で賄う想定で、人員の採用拡大/教育が論点

- 需要の拡大に対応する為、大量採用×OJT型教育で現場に配置して来た



メーカー等の外部企業のBPO/人員派遣を積極活用、及び効率化・IT/DXが重要な論点

- 離職率上昇・教育コスト増加で自社抱え込みが困難に
- 省人化が大きな課題に



課題へ対処しない(=IT化/DXを推進しない)場合のシナリオ

コストの上昇、売上の低下を招き、事業継続が困難になる可能性

- 人不足が進む中、採用競争が激化し、人件費が悪化
- その中で他社がDXに取り組み、付加価値が高い業務(=給与の高い業務)を他社が持つため人が他社へ流入

– “近隣に少しでも給与の高い工場があると、すぐに人が流れてしまう”(部品メーカー)

- 自社に優秀な人員が集まらず、売上向上施策も打てない悪循環に陥る

対応
すべき
課題

3.製造現場の課題&解決策・メリット(商材紹介)

ご担当者におけるIT/DXに関する声

よくある悩み

コーポ
レート

そもそも何をやるべきか、
誰に相談すべきか分らない

やりたいイメージはあっても
商品の組み合わせが難しい

IT導入に合わせ外注も増
やしたいが、何をできるか
不明

現 業

リモート対応のニーズはある
がどう進めるか分らない

実際の声



総務部門
マネジャー

上司からIT化を進めるように言われているが、何から
やって良いか、誰に相談して良いかが分からない



情報部門
マネジャー

元々情報漏洩リスクを懸念していたが、IoT機器増加
によりWi-Fi導入を検討したい。ただし、セットでセキュ
リティ等も必要で、個別対応が大変



総務部門
担当

IT化の後押しも受け、社員には売上向上につながる
仕事を任せたいと思っており外注を増やしたい。ただ
し何を、どう外注できるかのイメージが湧かない



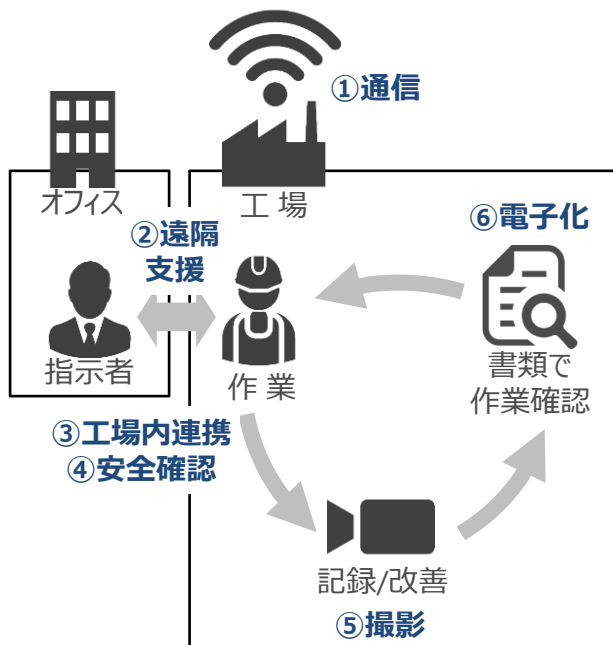
生産部門
マネジャー

リモートワーク普及により、作業状況を遠隔で見える
したり、連絡出来るようにしたいが、どのような商材が
有望かが分からない

3.製造現場の課題&解決策・メリット(商材紹介)

人手不足への対応や生産性向上のため、ICT活用による既存業務の省人化や効率化がキーに

イメージ



課題の例

解決策

① 通信

通信環境が悪い

- “既存Wifiの速度が遅く、セキュリティも不安”
- “配線だらけで管理が手間”
- “機器を通信に繋ぐ際、配線工事費が高い”

また通信環境の管理も不十分

- “トラブル時に作業が止まってしまう”
- “社内のセキュリティ対策に不安がある”

業務用Wifi



ネットワーク問合せ
サポート/
セキュリティ対策



①
通信

②
遠隔
支援

技術伝承ができず、作業レベルを維持できない

- “教育にも十分な時間が割けない”

遠隔業務支援
サービス



③
工場内
連携

トランシーバ等、音声ツールに不満がある

- “移動制限や多言語対応、故障対応など”

IPトランシーバ



④
安全
確認

作業員の安全状態を迅速に把握できない

- “連絡が取りづらく、タイムラグが発生”

安全・体調管理
サービス



⑤
撮影

不適合発生時など、作業現場の確認が適切にできない

- “作業チェックと合わせて、防犯対策も”

クラウド型カメラ



⑥
電子化

紙が多いため、オペレーションが非効率

- “検索の手間もかかり、持ち運びも面倒”

書類の電子化
サービス





Point

1. PC/スマートフォン/タブレットから作業現場をリアルタイムで確認。遠隔から適切な指示・管理が可能に
2. 社内LAN接続・クラウドを活用したWEB版により、いつでもどこでも利用可能。
3. 簡単設定ですぐに遠隔作業支援が可能。

導入前

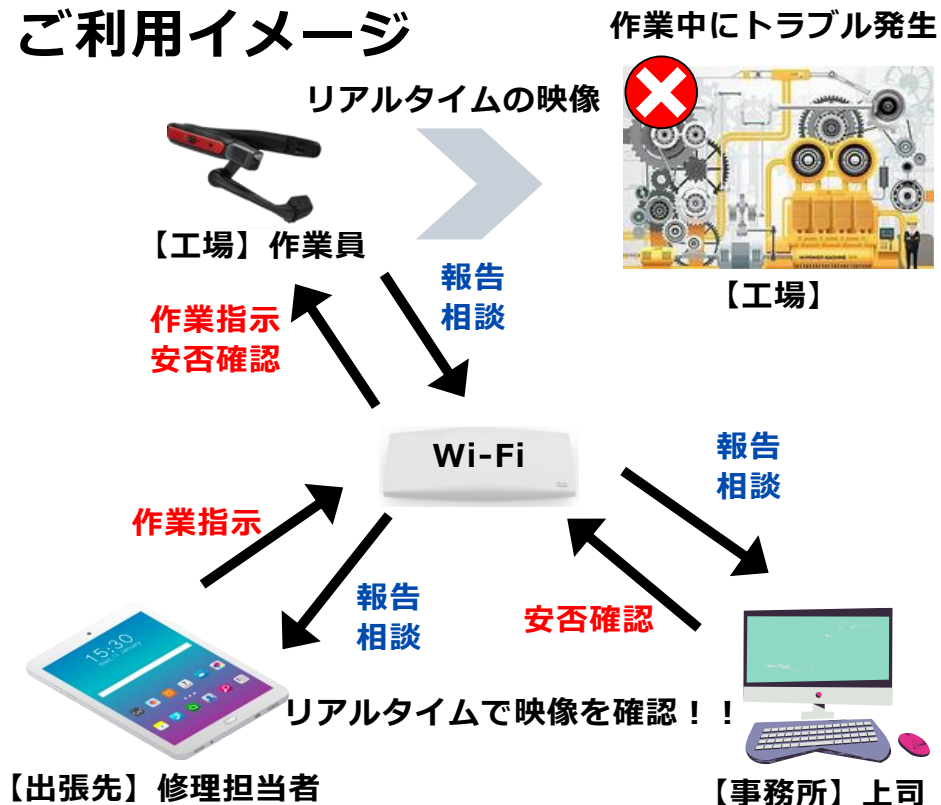
- ・ 機械トラブル等の際に連絡を取り、担当者が現場に到着するまでの間、作業がストップする。
- ・ 若手社員への技術継承/指示がうまく伝わらない。



導入後

- ・ 遠隔から作業現場の確認が可能になり、作業者に対してリアルタイムで適切な指示が行えるようになり、現場作業者の作業時間の短縮/指示ミスの低減が可能に。
- ・ ベテラン作業員の目線と同じ映像を見ながら教育を受けるため、若手への技術継承が容易&確実に。

ご利用イメージ



従業員安全・体調管理サービス Wearable Connect



Point

- 1.従業員の体調変化や現在地(位置情報)を活用し、作業中の安全管理(転倒/転落/熱中症)や健康管理(心拍)を実現。
- 2.メッセージ送受信機能やSOS送信機能を搭載し、万が一の連絡手段も万全。
- 3.スマホを持っていなくても利用可能(オプション)。

導入前

- ・過去に死亡事故も発生。
現状でも危険な現場があり昼夜を問わず単独作業になるケースが多い為安全対策が急務。
- ・工場内は携帯電話を持ち歩けないため緊急時含め、連絡手段がない。



導入後

- ・安全管理だけでなく、メッセージ送信機能により携帯電話を持ち歩けない作業員への連絡手段もできた。
- ・現場作業員からもSOSを発信することができるので安心感・満足感が向上した。

ご利用イメージ



IPトランシーバー Buddycom



Point

1. スマホの電波が届くエリアであれば遠隔でも通信が可能。
2. 多言語に自動翻訳ならびに音声の自動テキスト化。
3. 映像の中継で全員に情報を一瞬で共有。
面倒な免許申請や手続きが不要。

導入前

- ・既存のトランシーバーでは届く距離に制限がある。
1対多での情報共有ができない。
- ・外国人労働者や海外の工場とのコミュニケーション手段として有効なサービスがなかった。



導入後

- ・距離の制限がなく、どこでも連絡が取れるようになりグループ通話機能で情報共有も迅速に行えるように。
- ・翻訳機能や音声のテキスト化により外国籍の従業員や取引先とも円滑なコミュニケーションが実現に。

ご利用イメージ

"タップ+話す"

自動で

音声

共有&文章化

一斉発信

応答

スマホアプリ
ひとつで
簡単に利用



音声・動画
データはクラウド
に保存



クラウド型カメラ 3Sクラウドカメラ



Point

1. Wi-Fi環境が整っている場合、AC電源に接続するだけ。
2. PC/タブレット/スマートフォンなどネット接続環境さえあれば、いつでも映像確認が可能。
3. 365日の電話サポート&クラウドとの接続を監視。

導入前

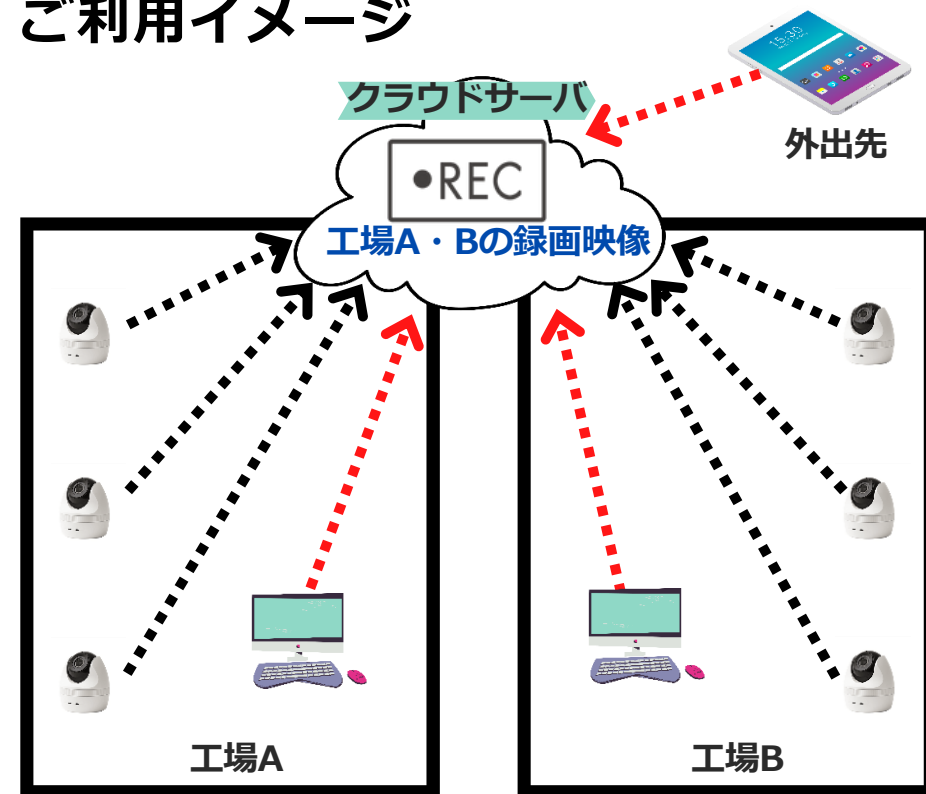
- ・ 事故や盗難などが発生した場合にオンプレカメラのハードディスクが破損していた為、映像が確認できなかった。
- ・ 人手不足や生産効率の低さから無駄な残業が多発している。



導入後

- ・ 映像はクラウドに保存されるため、どこからでも映像を確認でき、データ破損の心配が解消でき従業員の見守りとしても活用ができた。
- ・ 映像を他拠点から確認しつつ、的確な指示を出すことが可能となり、生産効率のUP&残業を減らすことに成功。

ご利用イメージ



業務用Wi-Fi つなぐY-Fi



Point

- 1.最新規格Wi-Fi6対応
最大100台の端末を接続可能。
- 2.最新で強固なセキュリティ
業務用端末へのアクセスを制限。
- 3.設定済のWi-Fiをお届け。コンセントに差すだけで
利用可能&365日の電話サポート。

導入前

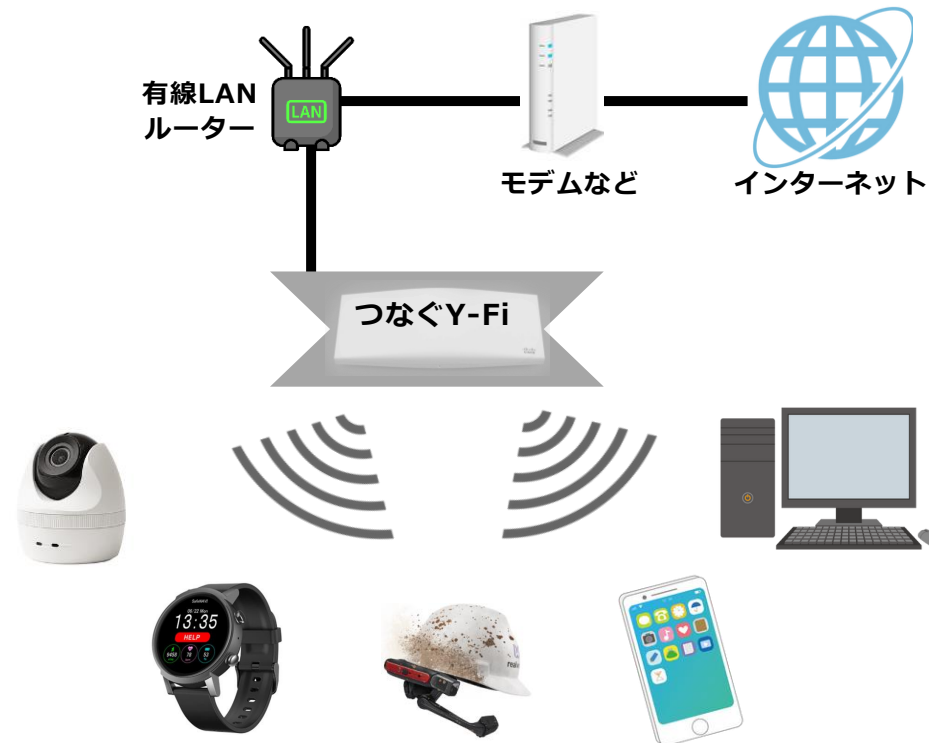
- ・ 図面などの大容量のデータを送信する際に
他の機器の接続が悪くなり、業務に支障が出ている
- ・ 有線もしくは昔の規格Wi-Fiを使用しているが
セキュリティ面に不安がある。



導入後

- ・ 最新規格+接続台数100台の為、データ遅延が解消。
設定も不要なので簡単に切り替えが行えた。
- ・ 最新のWPA3暗号化+自動ファームアップにも対応。
何か困った際はサポートスタッフが
遠隔で操作を行う為、安心して導入できた。

ご利用イメージ



書類電子化サービス



Point

1. 図面や帳簿等の紙資料を電子化。
2. 文字の自動読み取りや廃棄まで対応可能。

導入前

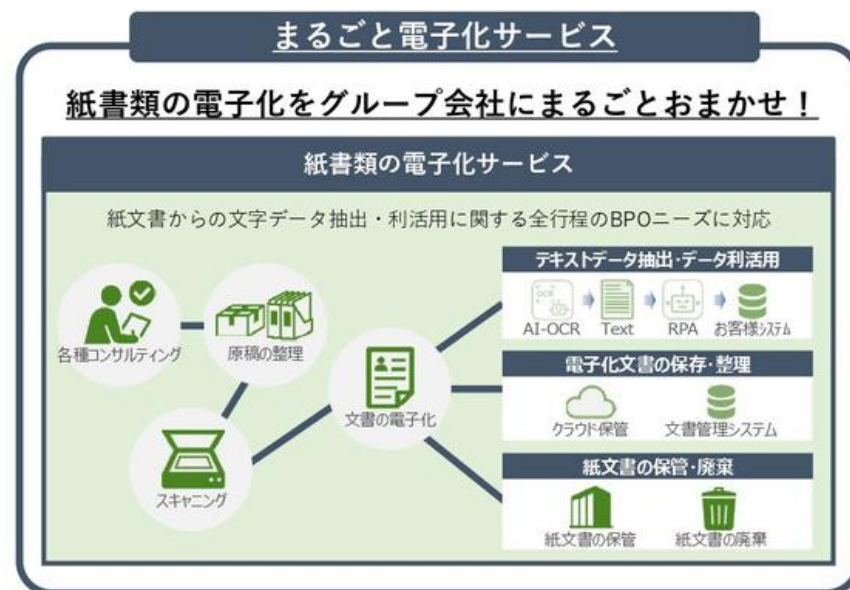
- ・ 図面などを保管するスペースが圧迫している。
図面のサイズが大きい為、複合機では読み取れない。
- ・ 電子帳簿保存法の改正により書類の電子化を進めなければならないが、業務の負担になる。



導入後

- ・ AI-OCRを活用し、手書き書類も全てテキスト化。
紙サイズも全てに対応しているため、昔の図面もPCで管理ができるようになった。
- ・ 書類の電子化はもちろん、電子化済の紙文章の破棄も全て行う為、手間いらずで書類電子化が実現。

ご利用イメージ



ネットワーク一元サポート ダイヤモンドサポート



Point

- 1.お客様のシステム構成、および保守対象を明確化。
- 2.一元受付(24時間365日)のサポート体制でIT担当者の負担を軽減。
- 3.IT担当者様に代行して保守事業者へ故障修理手配を実施

導入前

- ・ 24時間365日に対応可能な人材の確保が困難。
そもそも、何からすればよいか分からない。
- ・ 通常の業務と兼任している為、負担が増えている。



導入後

- ・ 既設のネットワーク環境を見える化し、
すでに稼働している機器にネットワークに関する不具合があった場合もカバー。
- ・ 企業内のセキュリティの構築も対応可能なため、
通常業務に集中することが可能に。

サポート内容

1. ICT環境調査と保守手引書の作成・管理

お客様のICT環境を調査し、システム構成等を明確化！
調査結果を元に保守の手引書を作成し、保守対象を整理

ICT環境調査 → 保守手引書作成 → 変更時の更新

お客様のシステム構成、および保守対象を明確化！

2. 一元受付(24時間365日)

当社がサポートしているお客様すべての
部署・拠点からの故障申告等を一元受付

IT担当者様の負担を軽減！

3. 故障被疑箇所の特定

保守手引書をもとに故障箇所を特定

ITの専門家が故障箇所を特定！

4. 故障手配・取次ぎ

IT担当者様に代行して当社が
保守事業者へ故障修理手配を実施

故障手配
ダイヤモンドデスク
A社 B社 C社 D社

たらい回しにあうこともありません！

ダイヤモンドサポート 一元サポートのイメージ

ご提供内容

ICT環境調査と保守手引書の作成・管理

お客様ICT環境を現地調査し、システム構成を明確化
調査結果を元に保守的手引書を作成。

他社設置の機器/NWも対象



ICT環境調査



保守手引書作成



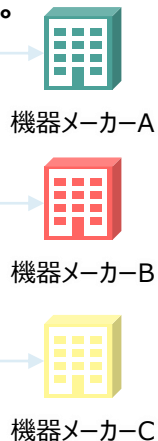
変更時の更新

一元受付(24時間365日)・故障手配

お客様からの故障に関するお問い合わせに対し、
問診切り分け、故障手配を実施。



一元受付・問診切り分け
(24時間365日)



提供価格

対象

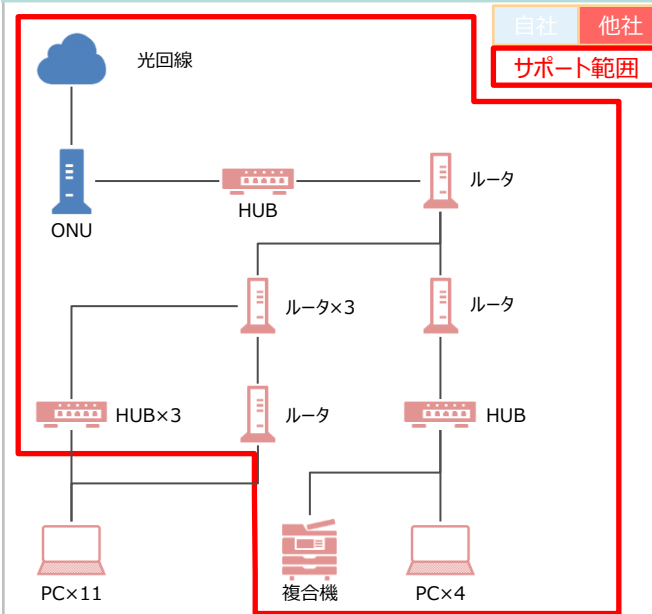
単位

貴社への
御提示額 (円)

※別途ご案内させていただきます

参考事例

サポート範囲



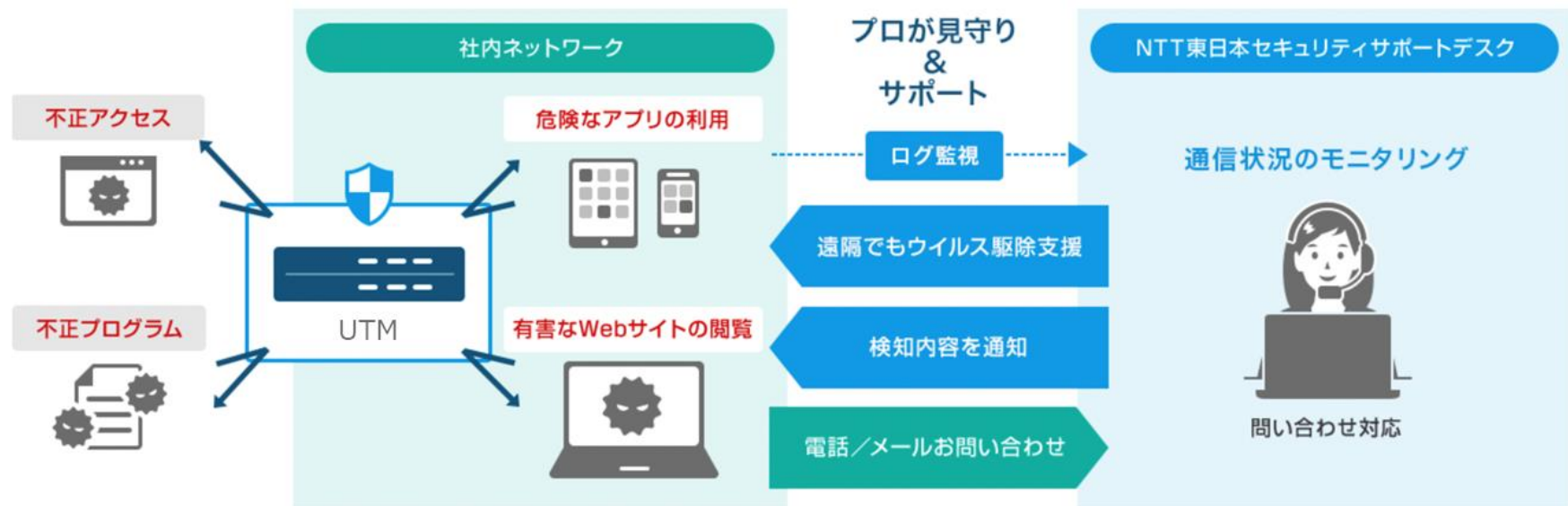
端末数

卸金額/月

顧客課題

複数ベンダーが混在している状況で、ネットワークの詳細がわからない。かつ、システム担当者がおらず、不具合が発生した際にたらい回しに合い、原因特定に時間がかかっている。

ダイヤモンドサポート UTM監視サポート



①セキュリティ監視

お客さま環境の通信を常時監視し
セキュリティリスクのあるアクセスを検知/遮断

②セキュリティインシデント対応

インシデントと思われる通信を検知した際は
お客さまへ通知。必要に応じウイルス駆除支援

③問合せ等の一元受付

UTMを経由して通信しているお客さまからの
セキュリティに関する問い合わせを一元受付

④セキュリティレポート

お客さまの通信状況を分析し、検知/遮断
状況や推奨事項についてお客さまに報告

⑤セキュリティ設定変更

お客さまの依頼に基づき、サポート対象機
器のセキュリティに関する設定変更を代行

⑥セキュリティパッチの最新化

お客さまに代行してサポート対象機器の
セキュリティパッチの最新化を実施

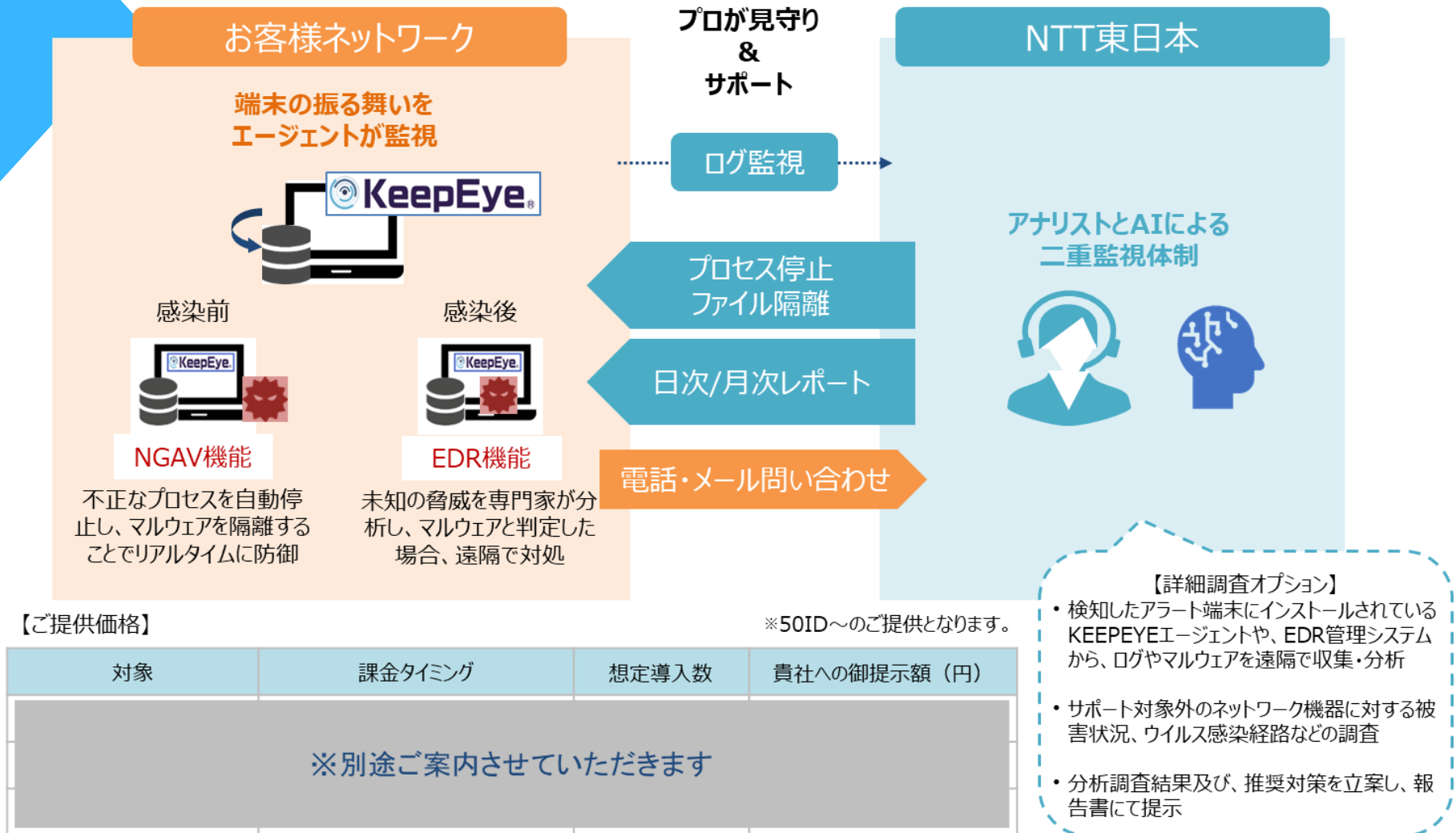
対象機器

Fortinet社製 UTM（UTMはお客様ご用意でも対応可）※対象機器：Fortigate 200Eまで

卸価格

※別途ご案内させていただきます

ダイヤモンドサポート EDR導入・運用サポート



サイバーセキュリティについて

現在のサイバーセキュリティ脅威

- 攻撃者の攻撃手法は日に日に進化し、その悪質化・巧妙化が進んでいます。
- 被害状況も深刻化の一途を辿り、法人組織の約4割が重大被害を経験しているというデータもあります。



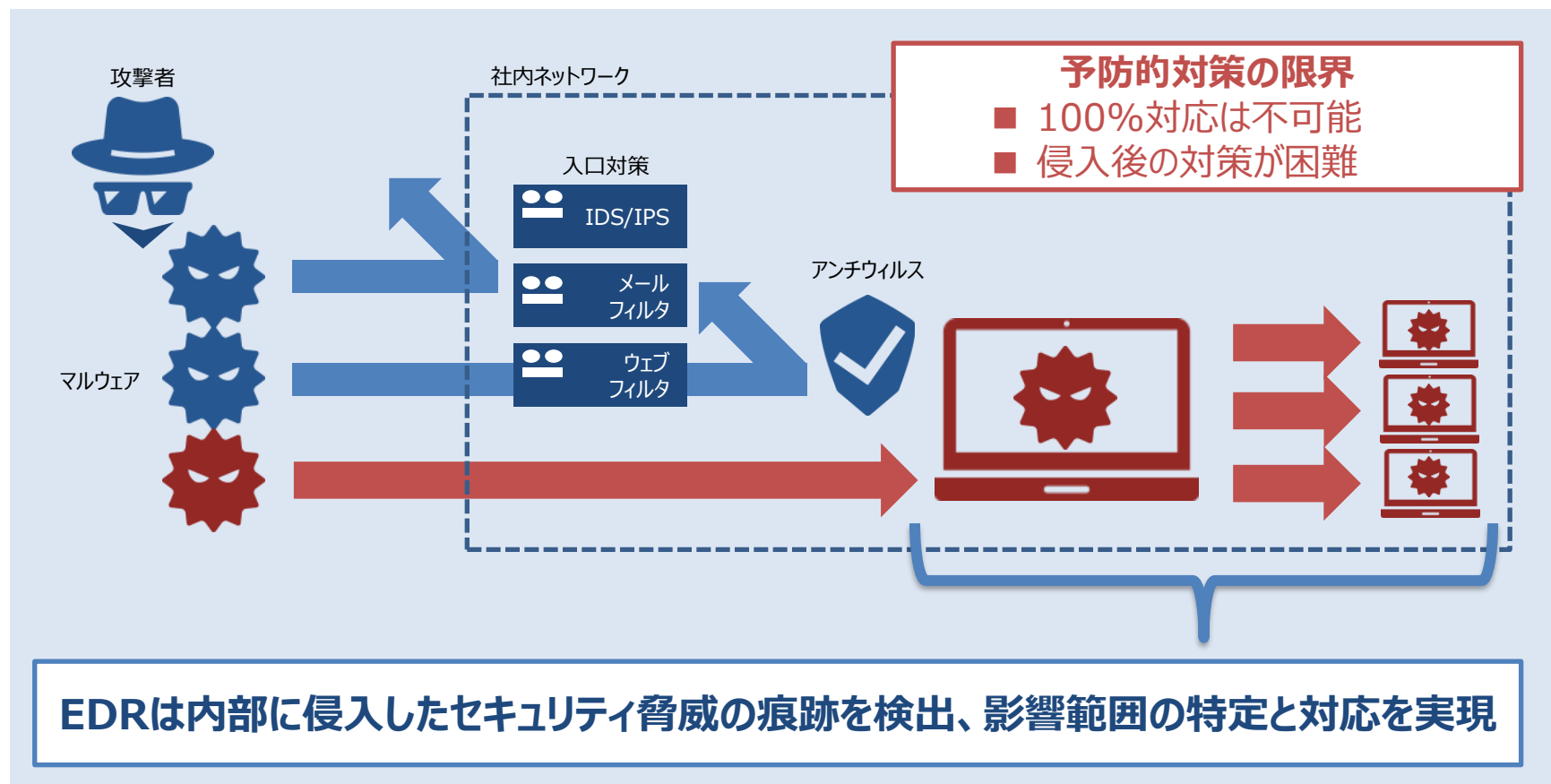
現在までに被害が深刻化し...

- 法人組織の**約4割**がセキュリティインシデントによる**重大被害を経験**
- 被害組織での年間平均被害額は**約2.4億円（1組織当たり）**

出展：総務省「令和2年版情報通信白書」（2020年8月）

EDR(Endpoint Detection and Response)概要

- 高度化を続ける脅威の侵入を完全に予防することは困難であるため、予防的対策だけに頼らず、脅威の侵入を前提として被害拡大を回避するためのソリューションが必要です。
- EDRはホスト上のプロセスを監視し、組織内に侵入した脅威を素早く検知し、対応するソリューションです。



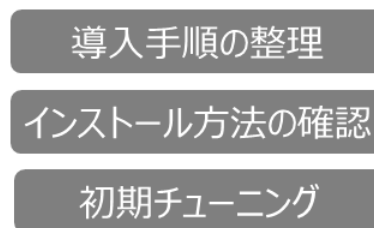
EDR導入時のよくある障壁

- ① どのようなEDR製品を選べばいいかわからない
- ② インストール作業や初期チューニング（ホワイトリスト作成）等の導入時の作業が煩雑
- ③ 導入後に正常なプロセスも誤検知することが多く、対応に稼働が割かれてしまう
- ④ 検知ログの分析・対応ノウハウをもつ、セキュリティ専門家の確保ができない

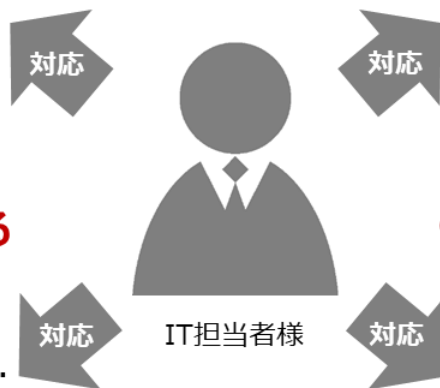
① どの製品を選べばいいかわからない



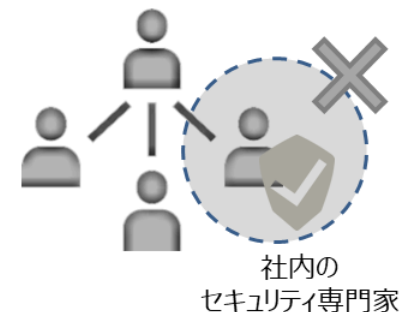
② EDR導入時の作業が煩雑



③ 誤検知の対応に稼働が割かれる



④ セキュリティ専門家の不在



- ① サーバ構築が不要で金融分野でも実績のあるEDR製品「KeepEye」を導入
- ② EDR導入はNTT東日本がしっかりサポート、初期チューニングも実施
- ③ AIだけでなくアナリストがアラートを分析することで誤検知を防止
- ④ SOCの実績あるセキュリティ専門家がお客様に代わって分析・対応

① KeepEyeを導入



- ・サーバ不要
- ・エージェントでマルウェアを隔離
- ・運用もセットでの価格設定
- ・金融、公共分野でも実績あり



② EDR導入をしっかりサポート



- ・導入までの流れをご説明
- ・パイロット端末へのインストール実施
- ・ご要望があれば、全端末へのインストール作業も実施
- ・初期チューニングも実施

③ AIとアナリストによるダブル分析・隔離

AI

アナリスト



- ・AIで検知した脅威をアナリストが分析
- ・リモートでプロセス停止または端末隔離
- ・人の目を通すから誤検知が少ない

④ セキュリティ専門家によるアラート分析・対応



- 【基本機能】
- ・検知アラートの分析/隔離対応
- 【MSSオプション】
- ・検知アラートを分析し、マルウェアの感染経路を特定
- ・端末よりログ/検体を抽出し分析

セキュリティソリューション EDRパッケージについて

- セキュリティソリューション EDRパッケージは、お客様の環境に合わせた“EDRの導入”と“運用・サポート”を一体化したソリューションパッケージです。



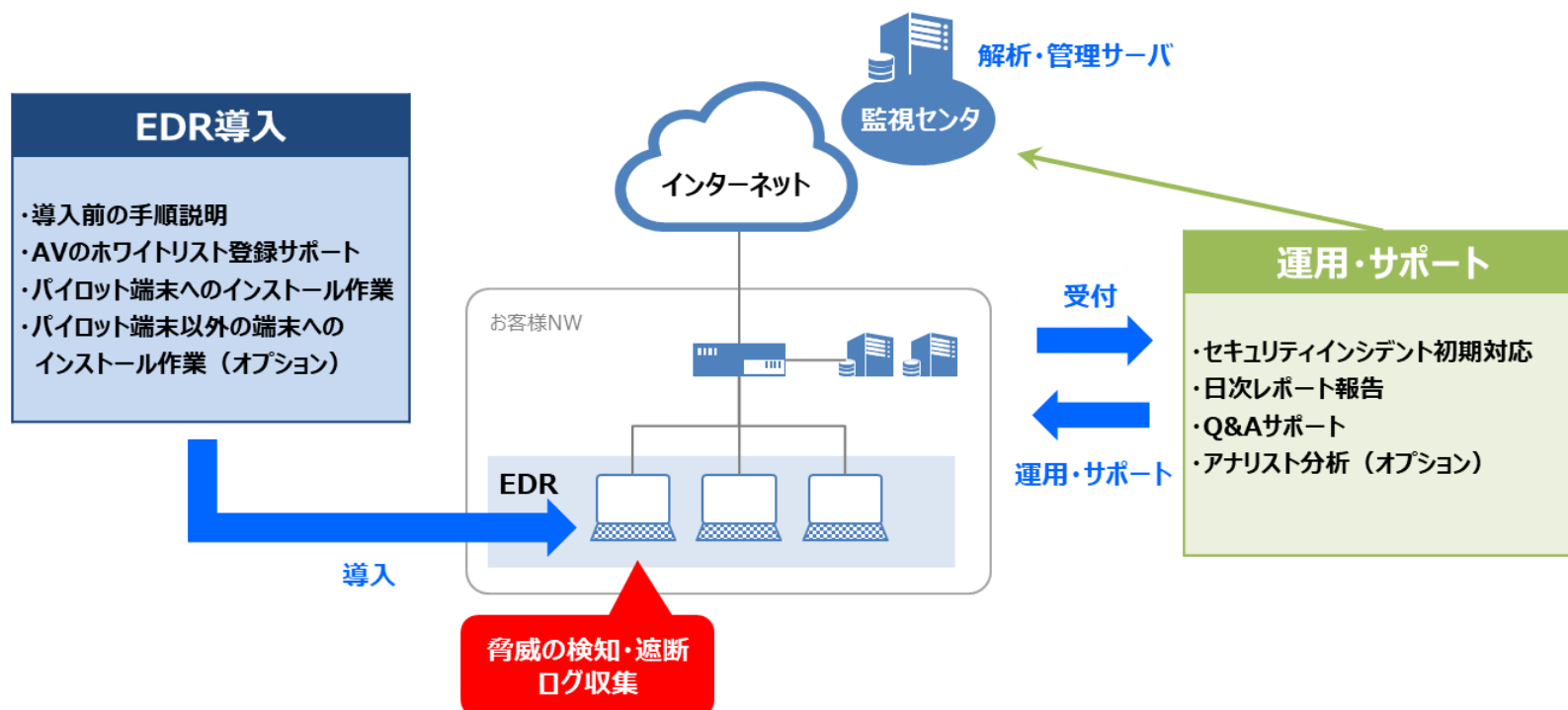
セキュリティソリューション
EDRパッケージ

=

「EDR導入」

+

「運用・サポート」



4.まとめ

昨今、DXやSDGs・カーボンニュートラルなどが注目されております中で、皆さまが抱えておられる課題も様々だと考えております。

その中で皆さまからのリアルな声を頂きつつ、私たちのICT/IoTの知見や事例などをかけ合わせながら業界のDX化に向けて、歩み進めることが出来れば幸いです。最後までご覧いただき誠にありがとうございました。